

2017年春闘

統一要求日：3月10日(金)迄提出

回答指定日：要求日の1週間後

農協労働者

北海道単位農業協同組合・農業共済組合
労働組合連合会(道農協労連)機関紙
毎月1日発行 1部30円
札幌市中央区北4条西1丁目 共済ビル4階
Tel. 011 (232) 0676
Fax. 011 (232) 2355
URL: http://donokyororen.jp
E-mail: mail@donokyororen.jp
発行責任者 九村 信吾



委員長・書記長会議・旗開き

17春闘方針を確認 職場の実態出し合おう

道農協労連は1月21日に札幌市内で「委員長・書記長会議、新年旗開き」を開催。24単組88名が参加しました。木村正之中央執行委員長は「皆様の御厚意を要だ」と述べました。



見舞金を受け取る番匠委員長

職場内での諦めの声 要求こそが解決の糸口



講演する館野書記長

館野豊全農協労連書記長の講演では、現在の農業情勢や農業・農協改革の中身について説明。農業・農協改革を進める政府の真の狙いは、農業分野の市場開放によるグローバル企業の利潤拡大であるとし、本来国の責任であるべき食料政策を放棄して「自由競争」に道を進めようとしていると強調しました。

最後に全農協労連に結果することの意味として、「私は全農協労連自体が何をしてくれようのかではなく、全国の仲間と一緒に戦える『武器』だと思ってる。職場の交渉

や労組活動を全国の仲間同士で支え合う・補い合うという横の連携こそが全農協労連の役割。その為にも職場の執行委員会など日常活

地区の垣根を超え交流
春闘に向け士気高まる

講演後には、書記局長に対し執行部からより春闘方針案の説明と次年度の役員体制について提起が行われ、長時間労働改善の為に改善要求・労使交渉の労働をテーマとした全体的議論が行われ、それぞれ職場の課題や実態が報告されました。こ



大きな盛り上がりを見せた旗開き

2017春闘方針ダイジェスト

現状に満足せず要求を

- 1. 労組員の生活・職場実態をつかむ**
経営側の説得には「労組員の生の声」が説得力を持ちます。アンケート結果だけでなく、職場などで腹を割って出し合う生活・職場実態も有効な説得材料になります。仲間の意見を聞いて議論を拡げる姿勢が必要です。
- 2. 賃金の引き上げは社会的責任**
政府は今春闘でも財界へ賃上げを要請し、中小企業の給与改善に対する法人減税措置を拡充します。
- 3. 理事会決定押し付けを跳ね返す**
経営者が理事会決定を理由に、労使交渉を形骸化する事例が後を絶ちません。労使交渉の合意なく一方的決定を押し付けることは労働組合法上許されません。北農中央会も、「労
- 4. 基本的な労組活動を改めて大事に**
要求を勝ち取るためには周到な準備と交渉の積み重ね、職場の世論形成が大切です。要求討議の経過、要求提出時や交渉での経営側の様子、労組の考えなどを広く職場へ伝えていくことが重要になります。労組側で基本的な活動を改めて実践する努力が求められます。

す。労働者の賃金を引き上げるとは今の社会的責任と言えます。農業情勢の先行き不透明さを理由に賃上げに応じない経営者もいます。その時には「一緒に農業・農家所得を増やす取り組みを進めよう。そのために最前線で頑張る私たち労働者の賃上げを」と訴え、「農政に原因があるのなら労使で協力して政府へ要請しましょう」と言うことも必要です。

組があるなら理事会前に労使交渉を行い決定すべき」という見解です。①理事会決定前に十分な労使交渉を行うこと、②労使合意内容を理事会へきちんと伝えること、③交渉中に理事会で決定しないよう保障させ、一方的な回答押し付けを跳ね返しましょう。